

第25回 中之島映像劇場
NAKANOSHIMA SCREEN

2023年5月13日[土]

国立国際美術館 地下1階
講堂

参加無料 (全席自由 | 先着100名) | 当日11:00 から整理券を配布 (1名様につき1枚)

Program 1

13:00 《事後勉強会》 2021年 | 日本、サウジアラビア | カラー | 48分

Program 2

14:10 《抽象・家族》[劇場版] 2020年 | 日本、シンガポール | カラー | 110分

Program 3

16:15 田中功起との対話 (2000年-2016年に制作された短編選の上映を含む)

冒頭に担当者による解説を行います。| 各プログラムの間に途中休憩がございます。

主催 | 国立国際美術館 協賛 | ダイキン工業現代美術振興財団

国立国際美術館
THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

対話

との

田中功起

映像

と

現代美術



田中功起の作品について
田中功起は、1960年代から1970年代にかけて、日本画の技法を用いて、抽象的な作品を制作した。彼の作品は、色と形の組み合わせによって、空間を表現している。この展覧会では、彼の代表作の一部を展示し、その創作過程について解説を行う。



対話

との

田中功起

映像

と

現代美術



現代美術と映像 | 田中功起との対話

第25回中之島映像劇場では「現代美術と映像」をテーマに、現在京都を拠点に活動している田中功起(1975年生まれ)をゲストに招いた上映と対話を行います。田中は、2013年に第55回ヴェネチア・ビエンナーレにおける日本館の展示で特別表彰を受賞し、2015年にドイツ銀行が選定するアーティスト・オブ・ザ・イヤーを受賞するなど、国際的に活躍している現代美術家です。しかし田中の作品、特に映像作品の発表の場は、必ずしも現代美術の文脈だけに限られるものではありません。その一部は、展覧会の形式の中で発表された後に劇場版のシングル・チャンネルに編集され、ベルリン国際映画祭(2020)、ロッテルダム国際映画祭(2019)、釜山国際映画祭(2019)などで上映されました。さらに、コロナ禍の困難な状況の中で制作された《事後勉強会》(2021)の場合には、ディルイーヤ・コンテンポラリー・

上映会に寄せて

スマホなどで動画にランダム・アクセスできる時代において、映画館や美術館で映像を見る経験は不自由なもの。それでも映画館での上映や美術館で映像を展示することには、何か別の意味があるのだろうか。あるとすればどんな意味を見出すことができるだろうか。

ぼくはたくさんの映像作品をつくってきたけど、実は映像をつくることそのものにはそれほど興味がなかった。それよりもぼくは、映像という方法を使って批評的な芸術を為すことにこそ興味がある。

田中功起 | 2023年4月11日

第25回中之島映像劇場

2023年5月13日[土] | 国立国際美術館 | 地下1階 講堂

- Program 1** 13:00 《事後勉強会》2021年 | 日本、サウジアラビア | カラー | 48分
Program 2 14:10 《抽象・家族》[劇場版] 2020年 | 日本、シンガポール | カラー | 110分
Program 3 16:15 田中功起との対話(2000年-2016年に制作された短編選の上映を含む)

| 冒頭に担当者による解説を行います。| 各プログラムの間に途中休憩がございます。

近年の長編 | 展示と上映、美術館・映画館・オンライン

事後勉強会

2021年 | 日本、サウジアラビア | カラー | 48分

監督・プロデューサー・編集 田中功起

撮影監督 森内康博

参加出演者 太田真紀、岡永遠、勝谷拓朗、北方こだち、タカハシタカカーンセイジ、立花光、中西栄味子、中村さやか、能政夕介、橋本清、東岡由希子、松岡咲子、宮木亜葉、やんそる

レクチャー 吉澤弥生、都留ドゥヴォー恵美里

朗読者 呉屋直、岡永遠

制作協力 THEATRE E9 KYOTO

このプロジェクトは、ディルイーヤ・コンテンポラリー・アート・ビエンナーレ2021のコミッションによって制作されています。

抽象・家族[劇場版]

2020年 | 日本、シンガポール | カラー | 110分

監督・プロデューサー・編集 田中功起

出演者 下地クラウディア、中川愛、橋本清、安田直人

撮影監督 青山真也

インタビュアー、アドヴァイザー 下地ローレンス吉孝

アドヴァイザー 蔵屋美香

絵画制作インストラクター 佐々木健

事前勉強会レクチャー 清水知子

このプロジェクトは、あいちトリエンナーレ2019、シンガポール・ビエンナーレ2019、麻生グループのサポートによって制作されています。

アート・ビエンナーレ(サウジアラビア, 2021)での「展示」、ルートヴィヒ美術館(ドイツ, 2021)での「上映」後、2022年に Theatre E9 Kyoto で「上映」されました。21世紀の社会はあらゆる映像で溢れていますが、全ての映像が「展示」と「上映」という、ある意味では特権的とも言える形式を通じて観客に出会えるわけではありません。異なる鑑賞形式を横断する作品のあり方とその背後にあるアーティストの思考、オンラインで視聴可能な作品を美術館という公共の場に集まって見るこの意味など、現代美術と映像をめぐる諸問題についてみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

そしてもうひとつ、初期から最新作まで約20年間の田中の歩みから作品を選んで並べてみると、作品世界の変化のみならず、撮影と編集機材、データの容量や形式、保存媒体、製作体制にいたるまで、映像制作環境の変化が浮き彫りにされます。今回の上映と対話は、映像表現の軌跡に映し出された、社会におけるアーティストの芸術実践のひろがり逆照射する試みでもあります。



事後勉強会 | 2021年



2023

2022

2021

2020

2019

抽象・家族[劇場版] | 2020年

Eating the History, Reflecting the Present (Whose Victory?)

2016年 | デジタル | 4分30秒

制作日 2016年4月27、日5月4日

形式 ワークショップ、集団の行動、映像記録

撮影地 60 Penfold Street, Derry Hall, The Showroom

参加者 Penfold Community Hub members,
Charlotte Nourse, Eva Rowson, Louise Shelley,
Koki Tanaka, Natasha Tebbs,
Church Street Networking Lunch attendees

コーディネーター Louise Shelley, Natasha Tebbs

撮影 Caroline Heron,

Imran Perretta [both Video in Common]

Special thanks Denis Kane [Penfold Community Hub],

Elena Grbic [Paddington Development Trust],

Helen Upcraft [Imperial War Museum],

Terry Jones [London Fire Brigade]

共同制作 The Showroom, London



一つのプロジェクト、七つの箱と行為、美術館にて

2012年 | デジタル | 13分33秒

制作日 未詳

形式 行為、映像記録

撮影地 東京国立近代美術館

パフォーマー 佐々木健、榊田倫広、保坂健二郎、
蔵屋美香、田中功起

撮影 田中功起

このプロジェクトは、東京国立近代美術館の
コミッションによって制作されています。



A painting to public (Metro Bus Line 2, Los Angeles)

2011年 | デジタル | 2分32秒

制作日 2010年12月28

形式 行為、映像記録

撮影地 Echo Park to Silver Lake

撮影 Nao Hiro

写真 Kumie Tsuda

共同制作 The Box, Los Angeles



美術館に収蔵された初期短編 | ムービング・イメージ、時間の柔軟性、空間の可変性

123456

2003年 | デジタル | エンドレス・ループ

制作日 未詳

形式 ノンリニア編集

撮影地 自宅

撮影 田中功起

ムービング・スチル

2000年 | デジタル | エンドレス・ループ

制作日 未詳

形式 ノンリニア編集

撮影地 自宅

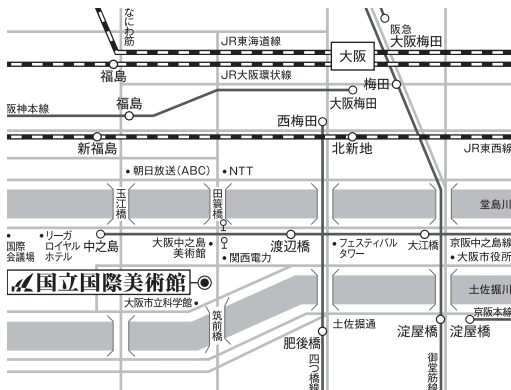
撮影 田中功起

アクセス

- ・京阪電車中之島線「渡辺橋駅」(2番出口)から南西へ徒歩約5分
- ・Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋駅」(3番出口)から西へ徒歩約10分
- ・JR「大阪駅」、阪急「梅田駅」から南西へ徒歩約20分
- ・JR大阪環状線「福島駅」、東西線「新福島駅」(2番出口)から南へ徒歩約10分
- ・阪神電車「福島駅」(3番出口)から南へ徒歩約10分
- ・Osaka Metro 御堂筋線「淀屋橋駅」、京阪電車「淀屋橋駅」(7番出口)から西へ徒歩約15分
- ・大阪シティバス「大阪駅前」から、53号・75号系統で、「田養橋」下車、南西へ徒歩約3分
(お帰りのJR大阪駅方面最寄バス停は「渡辺橋」になります)

当館には専用駐車場はありません。ご来館は電車・バス等をご利用ください。

心身に障りのある方で、車で来館される場合は、
当館近隣の有料駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。

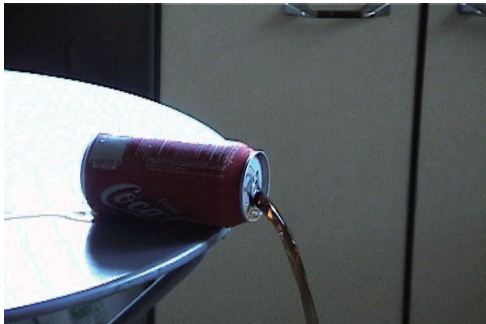


国立国際美術館では、
本上映会時に、
下記の展覧会を開催中です。

ピカソとその時代
ベルリン国立ベルクグリューン
美術館展

コレクション2

特集展示: メル・ボックスナー



All Photo Courtesy of the Artist,
Aoyama Meguro, Tokyo, and
Vitamin Creative Space, Guangzhou.

Design | Daishiro Mori